府中基地跡地留保地の利用計画 今後の市の対応は

留保地として存続させるため 構造改革特区申請に向けて取り組む

村崎　啓二議員　国は、5月に、基地跡地の民間への売却を可能とする留保地の新利用方針の骨子を決めた。府中基地跡地留保地への本市の対応は、基地対策特別委員会等に報告され、審議されてきたが、今後の市の対応について聞きたい。

また、この留保地を、構造改革特区として申し出を行うことについてはどうか。

▲府中基地跡地の留保地

市長　国立医薬品食品衛生研究所の移転地を除く部分は、民間売却することなく、留保地として存続させたい。

その間、市民に開放し、将来的に無償譲渡または廉価で購入できるよう、国に対し強く要請をしていきたい。

総務部長　留保地を長期無償貸付により市民の利用に供するという内容で、構造改革特区申請に向けて取り組んでいきたい。

他 分権推進と税源移譲について ●府中市「まちづくり条例」(仮称)の制定に向けて

市民に誤解を与えない情報発信 都市計画図の改革は

市民が分かりやすくなるよう 工夫していく

村井　浩議員　四谷1丁目にある四谷第5公園予定地の現況を知りたい。

都市建設部長　旧日本債券信用銀行が福利厚生施設として所有していたが、民間不動産会社に売却され、平成13年に宅地造成がなされている。

議員　四谷第5公園のように、都市計画決定された企業の厚生施設やグラウンド等が宅地開発された事例は他にあるか聞きたい。

環境安全部長　今回のような開発の事例は市内では初めてである。

議員　行政は、市民に誤解を与えることのない情報を発信することが大切と思う。

都市計画図には、現況と異なる表示をしている部分が見受けられるが、現況に合わせるような改革は。

市長　都市計画の決定状況の周知については、法の規定による限界もあるが、今後も、市民が分かりやすくなるよう工夫をしていきたい。

新たな市民と地域との関わり 市は、どう考えるか

市民とともに郷土愛を育(はぐく)んでいくよう努めていきたい

比留間　利蔵議員　少子化が進んでいる今日、子供たちが地域の活動に参加し、お年寄りとの触れ合いや、古くからの伝統を習得する中で、自主性や協調性を養っていくことが理想である。幸い本市には、くらやみ祭りという伝統行事があり、地域の人間関係を築き上げながら、この文化を守り、次世代へ受け継いでいる。

しかし、新たに転入してきた市民にとっては、なかなか地域と関わり難いところもあるのが現状である。そこで、新しい市民、特に子供たちと地域との関わりについて、どう考えているか聞きたい。

市長　各文化センター圏域では、コミュニティー協議会が設立され、子供からお年寄りまで幅広い市民層を対象に様々な活動が展開されている。

子供たちが、府中をふるさととして伝統文化を継承し、郷土愛を育んでいくことができるよう、市民とともに努めていきたい。

府中多摩川かぜのみち 自転車の速度制限等の考えは

広報での周知や注意喚起等 十分な対策を講じたい

手塚　歳久議員　「府中多摩川かぜのみち」は、相変わらず自転車の通行が多く、かなりのスピードを出している自転車も見受けられ、市民からは、危ない、怖いといった声が寄せられている。

利用者は市内外とも多いが、このような自転車は、PRのこともあり、とりわけ、市外の人が多いと認識している。

そこで、かぜのみちが市立公園に位置づけられたこともあり、自転車の速度制限等を行う考えがあるか聞きたい。

環境安全部長　市立公園条例により、他人に迷惑を及ぼす行為は禁止されている。しかし、自転車の速度制限は、その基準もなく、取締りは難しいとの警察署の見解である。

今後は、広報での周知や、路面表示の箇所数を増やすことの検討、運転者への注意喚起等、十分な対策を講じたい。

他 大規模マンション内の保育施設について ●ポイ捨て防止等環境美化条例の早期制定について

▲スピードは控えて

中学校での部活動の 意義と位置づけは

個性を伸ばす重要な役割で 学校教育を支える大切な活動

備　邦彦議員　中学校にとっての部活動は、心ゆたかで、たくましい子供を育てる場として大変有意義な場であると思う。

しかし、現状を見ると、少子化傾向の中で先生の数が減少し、部活動を指導する教師不足も原因としているのか、生徒が希望する部がない学校が増えているようである。

そこで、中学校での部活動の意義、位置づけを聞きたい。

また、外部指導員と部活動の顧問との関係を聞きたい。

教育長　意義は、生徒が自ら個性を伸ばし、生涯学習の基礎の形成において教育的に重要な役割を果たしている。位置づけは、教育課程外の活動となるが、学校教育を支える大切な活動と認識している。

学校教育部長　指導員は、顧問教員の監督のもと、教員を補助し、部活動の充実及び円滑な推進について必要な技術の指導助言を行っている。

他 晴見町3−19の兼平家の市への寄付行為について

▲放課後の部活動(浅間中)

市政の健全経営 重要な課題は何か

民間の経営能力や運営技術の 活用が重要と考える

高野　律雄議員　今日の経済不況による財政ひっ迫・行政不信など、厳しい環境が我が国の内外を取り巻き、閉そく感が漂い続けている。

このような状況の中、数年前から民間活力を導入する自治体経営が議論され、行政評価や地方分権が行われてきた。

本市における諸課題も、他市と同様に、財源不足が解消できないにもかかわらず、更なる社会的福祉の充実が市民から求められている。

そこで、市政の健全経営のための重要な課題は何か、具体的に聞きたい。

市長　市政の健全経営という観点からは、事務事業評価による職員のコスト意識の徹底とともに、サービスの質を落とすことなく、より効率的な事業運営を実現するためには、民間の経営能力や運営技術の活用が重要な要素となってくるものと思っている。

中学校経営課題検討委員会 その内容は

学校の諸問題を検討する委員会 現在は部活動の在り方を検討

前川　浩子議員　中学校の部活動は、子供たちにとって心身ともに成長する場であり、生きがいとなっている生徒も多く、学校生活の中での比重は大変大きい。

しかし、現在顧問の引き受け手や指導する教員の減少、新学習指導要領の中から部活という言葉が無くなってきたことなどにより、徐々に部活動という授業以外の活動の場が中学校で減少してきていることは事実である。

このような中、部活動について中学校経営課題検討委員会を設置したと聞いた。

そこで、この委員会の内容について聞きたい。

学校教育部長　中学校経営課題検討委員会は、中学校の校長、教頭、主幹によって構成され、中学校の学校経営上の諸問題を解決するための方策等を検討するために設置したものである。

現在は、部活動の在り方を検討している。